

環境問題バザールを終えて

「環境問題バザール」後の生徒の感想

- やっぱり相手の顔を見て発表すると、説得力が違うと思いました。
- 自分の言葉で話している人がたくさんいて、とても分かりやすかった。相手を意識して発表している人は、とても分かりやすかった。
- ペンでなぞりながら説明してくれる人や絵をその場でかいて説明したりしていたので分かりやすかった。
- みんな、それぞれに工夫が見られて、前回の読書紹介バザールよりよくなっていたと思った。
- みんな読書紹介バザールなどの経験を生かし、上手に発表していた。
- 詳しく説明してもらい、とても時間がかかりました。しかし、説明の内容や身ぶり手ぶり、また、話し方に引き付けられてしまい、どんなに長い時間、聞いていても大丈夫という感じでした。自分の考えもはっきりと発表していたし、なによりも相手を意識している、一方的ではないというところがよかったと思います。
- 絵を使って発表したりして、とても分かりやすく、よい発表の仕方だと思います。また、よいところは、自分の発表にも使いたいと思います。
- みんなそれぞれの発表の仕方、自分のテーマと同じ人でも「こんな説明の仕方がある」と思った。それぞれ、みんな主張したいことが違っていて、とても聞いていて楽しかった。
- 紙を見ないで説明をしてくれていて、とても分かりやすく説明してくれた人がたくさんいたので、びっくりしました。
- みんな前回にも増して詳しく、わかりやすく現在の環境問題について説明してくれました。今日は、環境問題について改めて考えさせられた一日でした。
- 一人一人いろいろな発表方法があって、自分の調べたテーマのことを、それぞれわかりやすいように工夫して発表していた。地球の環境の問題について今まではよく知らなかったことも今回の環境問題バザールのおかげでよくわかった。
- 詳しく調べてみた人もいて、分かりやすい説明が多かった。その問題について、どうしたらいいのかということ深く考えている人もいた。
- みんな、とても分かりやすく説明していました。オゾン層破壊、水質汚染、砂漠化など、言葉は知っているけれど、どのようなものなのか、詳しく知らないことが多かったので、とても勉強になりました。
- 細かく説明していた人がいてよくわかりました。環境問題はとても広く、一つ一つのことが私たちに関係することがわかりました。
- 最初は下を向いてメモを見ないと伝えたいことが言えなかった。でも、何回も発表するごとに自然とメモを見なくなって、ずっとお客さんの反応を見ていた。その場になって自分の言葉で話すことも大切だと分かった。
- 今回は、前回の反省点を生かしてよくできました。この「環境問題バザール」は、自分の分かったことだけを説明したので、自信をもってできました。
- けっこう熱心に聞いてくれる人が多くてうれしかった。バザールのコツをつかんだ気がする。
- 前回と違って原稿がなかったので、文を考えるという楽しみがあった。説明をしているうちに、自分の知識も深まったので、とてもよい方法だったと思う。
- 私は中学校に入って何回か、みんなに向かって説明する機会があったが、その中で一番内容も充実していたし、みんなに分かりやすく伝えることができたので一番よくできたと思う。
- とっても楽しくて、自分の意見を相手に伝えるのは大切だと思った。またやってみたい。
- 自分の考えを伝えるのは簡単そうだけど、本当はとても難しいことだということが分かった。